

第 3 回

開催日時	平成25年10月3日(木) 19:00~22:00		
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室		
出席者	委員	中村忍, 北山静香, 和家貴之, 小橋康德, 美野田龍敬, 小松崎育, 田中真琴, 中村敬治, 川越信行, 池田晃一, 佐藤加代子, 山本香織, 中根絵美, 東崎紀子, 佐久間知美, 吹野久美子, 會沢勇夫, 井野由美子 (敬称略, 順不同)	
	傍聴者	0名	
	その他	鈴木教育長, 村田教育次長	
	事務局	学校教育課再編担当	
会議次第	<p>【議事】</p> <p>1 専門部会報告</p> <p>2 統合校の名称について</p> <p>3 統合校の服装について</p> <p>4 その他(次回開催等について)</p>		

第3回 茨城町立小学校統合準備委員会 会議要旨

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議事

議事(1) 専門部会報告

委員長

議事(1) 専門部会報告について, 学校運営部会長からの説明を求めます。

学校運営部会長

学校運営部会を7月31日(水)に開催し, 統合小学校の教育目標, 校訓, 教育課程, 生徒指導,

学校事務等の問題について協議した。最も重要な問題である教育目標や校訓については、教頭を中心として協議を進め、教育課程、生徒指導、学校事務等の問題については、それぞれの専門部会を設けて、年間行事予定、統合時の学用品、指定金融機関の問題等、様々な事項について協議を進めている状況である。

これらの課題を早期に整理し、余裕をもって開校できるよう準備を進めていきたい。

委員長

続いて、PTA部会長からの説明を求めます。

PTA部会長

PTA部会を7月17日（水）及び9月5日（木）に開催した。

まず、4校のPTA規約を比較しながら、統合小学校のPTA規約案を取りまとめた。組織編制は、青葉中学校に合わせるようにして、平成26年11月までに、4校から本部役員の候補を3名ずつ選出し、選出された12名によって細部を協議していく予定である。

PTA行事については、統合によって実家庭数が増えることで、球技会の運営が難しくなるのではないかと、また、駒場小学校で実施している廃品回収作業を統合小学校でも採り入れるべきではないかなど、意見を交わした。

通学の問題については、スクールバスや通学用ヘルメット等について協議をしている。スクールバスについては、平成26年度に導入される青葉中学校向けスクールバスの運行状況を参考にしながら、統合小学校向けスクールバスに関する意見・要望等をまとめていき、通学用ヘルメットの着用の問題については、今後も継続的に協議するという事になった。

制服・私服、さらに体操服の問題については、保護者からの問い合わせが多いようなので、統合準備委員会で早期に結論を出すことが望まれているのだと思う。

閉校式の問題については、各校の関係者間で情報交換をしながら、今後の協議を進めていく予定である。

委員長

議事（1）専門部会報告について、学校運営部会長及びPTA部会長からの説明が終わりました。質問・意見等がないようなので、次の議題に移る。

（2）統合校の名称について

委員長

議事（2）統合校の名称について、事務局からの説明を求めます。

事務局

まず、統合小学校の校名案の募集結果について説明する。募集期間は、平成25年7月19日（金）～平成25年9月6日（金）の50日間であり、応募総数は133件、校名案数は72点であった。応募者の内訳は、児童生徒及び教職員が89件、保護者や住民の方が26件、4校いずれかの卒業生が13件、不明が5件であった。

そして先日、校名案の一覧表及び投票用紙を委員の皆様へ郵送し、72点の校名案の中から1人

10点以内で事前投票（第一次投票）をしていただいた。1人10点以内の投票であったため、各委員の投票数は異なるが、投票の結果、1票以上得票した校名案は23点であった。応募件数及び事前投票における得票数が多かった校名案は、漢字や平仮名で表記が異なるものもあるが、「あおば」、「よつば」、「わかば」と読む校名案であった。

参考までに、1票以上得票した23点の校名案と同じ校名の学校が、全国にどの程度あるのかを調査した結果を資料にまとめた。同じ校名の学校があっても問題はないが、参考情報として見ていただきたい。例えば、「青葉」は中学校で10校、小学校で6校あり、平成26年4月には、御存じのとおり茨城町立青葉中学校が誕生する。「茨城」は茨城県内の中学校で1校、表記は異なるが、大阪府の「茨木」中学校もある。「希望」は小学校で3校、中学校で2校あり、その他の校名も各地で使用されている状況である。

第一次投票で1票以上得票した23点の中から1点を選び、校名案を決定するわけだが、まずは、どのような方法で決定するのかを協議しなければならない。参考までに話をすると、統合中学校の校名を決定した際には、無記名投票により校名案を段階的に絞り込み、最終的に「青葉」と決定した。23点の校名案の中から、いきなり1点を選ぶのは難しいので、投票を数回実施し、段階的に絞り込んでいきたいと考えている。まずは1人3点以内で投票を実施し、得票数が上位の3点の中から最終的な1点を決定するなど、具体的な方法は皆様の協議により決定していただきたい。また、投票という方法以外に良案があれば、あわせて意見を伺いたい。

委員長

議事（2）統合校の名称について、事務局からの説明が終わりました。

中学校統合準備委員会の委員も務めている方に尋ねるが、統合中学校の「青葉」という校名はどのように決定されたのか。

委員

事務局から説明があったように、段階的な投票により得票数が上位の校名案を絞り込み、最終投票で最多得票した「青葉」を校名案として決定した。

委員長

決定方法は、投票でよろしいか。

委員

はい。

委員長

では、どのような投票方法がよろしいか。

委員

無記名投票により、まずは1人3点以内で投票を実施し、得票数が上位の校名案を段階的に絞っていくという方法で良いと思う。

委員

まず、1人3点以内で投票するということが、先日実施した第一次投票の結果、上位3位以内であった校名案を対象に投票を実施してはどうか。

事務局

第一次投票は、1人10点以内で投票を実施したため、1点しか投票しなかった委員もいれば、10点投票した委員もいる。また、10点投票した委員について言えば、投票した10点の中には、優先順位があったと思う。

教育長

第一次投票は、本日の協議を円滑に進めるために、皆様の意向を大まかに把握することを目的として実施したものである。

事務局

23点の校名案の中から1人3点以内で投票してはと提案したが、ただいまの意見のように、第一次投票の得票数に基づいて、次を最終投票にしてはという意見や、反対に、もう少し段階をふんで、まずは1人5点以内で投票してはという意見もあるかもしれない。そうした意見が全て出尽し、考え方が歩み寄ったところで、投票を開始したいと考えている。

委員

これが良いと考えている校名案が1つあるのだが、第一次投票の時には、1人10点以内で投票というルールであったため4点に投票した。私と同じような方が他にもいるかもしれないので、投票を開始する前に、細かな方法を良く協議すべきだと思う。

委員

まずは、1人5点以内で投票し、得票数が上位の校名案を対象にして1人1点で最終投票を実施するという方法が良いと思う。また、23点の校名案の応募理由や思いについて、皆で再確認したうえで投票すれば、より意義深い投票になるのではないかと。

事務局

投票に入れば、結果はすぐに出てしまう。その前に、校名案に対する皆様の考えや思いについて意見交換することで、投票の際の参考情報になり得ると思うので、そうした意見を是非とも伺いたい。

委員

同音異字の校名案がいくつかある。これらの校名案を分けて取り扱おうと、得票数はばらけると思う。したがって、同音異字の校名案は1つの候補として取り扱い、その校名案が最後まで残った場合には、どの表記を選択するかを、その時点で協議すれば良いと思う。

委員

保護者の立場としては、統合中学校と同じ体操服を統合小学校でも着られるようにしてほしいと考えている。確認したいのだが、体操服は各学校で異なるものを着なければならないという決まりはあるのか。もし、同じ体操服を着られるのであれば、統合小学校の校名は、統合中学校の校名と同じ「青葉」が良いと思っている。逆に、同じ体操服を着られないのであれば、「青葉」以外の校名を選びたいと思っているので、そうした決まりがあるのかを確認したい。

委員

校名案の名称だけではなく、応募理由や思いも尊重して選考したいと思う。また、先程意見があ

ったように、同音異字の校名案を1つの候補として取り扱えば、候補となる校名案数は絞られ、決定しやすいのではないかと思う。

委員

第一次投票の時には、4点に投票した。まずは、1人3点～5点で投票を実施してはと考える。

委員

第一次投票の時には、8点に投票したのだが、同音異字の校名案に何点か投票した。23点の校名案の中からは、3点ぐらいが選びやすい。また、先程から意見が出ているように、同音異字の校名案は1つの候補として取り扱い、最終的にどの表記にするかを決定すれば良いと思う。

委員

まずは、1人3点の投票で良いと思う。第一次投票の時には、「青葉」、「潤沼」、「ひばり」、「よつば」の4点に投票した。統合中学校の校名が「青葉」であること、茨城町をイメージできる「潤沼」、茨城県の鳥である「ひばり」、4校が統合するという意味で「よつば」が良いと考えて投票したが、最も深い意味が込められているのは「よつば」だと考えている。

委員

第一次投票の時には、「いばらき南」と「ひばり」に投票した。「青葉」、「よつば」、「わかば」は、私が投票しなくても他の誰かが投票するだろうと考え、あえて投票しなかった。

先程、体操服のことで質問があったが、統合小学校と統合中学校が同じ体操服を着ることになると、遠くから見た時に小学生か中学生か区別がつかなくなる時があると思うので、体操服の一部は同じであっても良いと思うが、全てが同じものではない方が良いと考えている。

委員

第一次投票の時には、それぞれの校名案の応募理由や思いを吟味して1点だけ投票した。したがって、これから1人3点～5点程度で投票を実施するとすると、第一次投票で1点しか投票しなかった私は、他に数点を選び直さなければならない。しかし、協議によってそうした投票方法に決定した場合には、それに従って投票したい。

委員

第一次投票の時には、1点しか投票しなかった。何回投票をやっても結果は同じだと思うが、まずは、1人3点で投票すれば良いと思う。

また、体操服については、統合小学校と統合中学校で同じものを着ても構わないと思うが、区別をつけるという意味では、少し違うものにした方が良いのではないか。

事務局

皆様から、大変多くの意見をいただいた。まずは、1人3点程度で投票してはどうかという意見が多かったが、それで良ければ皆様の了承をいただきたい。

教育長

先程、各学校の体操服は、異なるものでなくてはならないという決まりがあるのかという質問があったが、その質問に対する回答がなされていないので、この場で回答したい。体操服は、各学校の判断でどれを着るのか決定するものであるため、そのような決まりはない。

事務局

それでは、同音異字の校名案は1つの候補として取り扱い、そのように取り扱った校名案が最後まで残った場合には、どの表記を校名案として採用するかを、その時点で決定するということよろしいか。

また、投票点数については、1人3点で投票とするのか、1人3点以内で投票とするのか問題となるが、1人3点以内とすれば無理に3点を選ぶ必要がなくなる。いずれの投票方法がよろしいか。

委員

必ず3点投票することになると、良い校名案は1点しかないと考えている方にとっては、残りの2点は数合わせのための投票になるのではないか。

委員

1人3点以内が良いと思う。

事務局

では、23点の校名案の中から1人3点以内で投票を実施する。

《第二次投票》

■投票方法

第一次投票において、1票以上得票した23点の校名案の中から1人3点以内で投票
(無記名投票)

■投票結果

得票数が上位3位までの校名案は以下の3点

- ・青葉（同音異字なし）
- ・よつば（同音異字4点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）
- ・わかば（同音異字2点：若葉，わかば）

事務局

では、この3点の校名案の中から1人1点で投票を実施する。同音異字のある校名案が1位になった場合には、どの表記を採用するかはその後に決定する。

《第三次投票》

■投票方法

以下の3点の校名案の中から1人1票ずつ投票（無記名投票）

- ・青葉（同音異字なし）
- ・よつば（同音異字4点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）
- ・わかば（同音異字2点：若葉，わかば）

■投票結果

- ・1位：よつば（同音異字4点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）8票
- ・2位：青葉（同音異字なし）6票
- ・3位：わかば（同音異字2点：若葉，わかば）4票

事務局

投票結果について、悩みが2つある。1つ目は、1位の「よつば」と2位の「青葉」が2票差と僅差であったため、このまま1位の「よつば」に即決しても良いのかということ。2つ目は、このまま1位の「よつば」に決定した場合には、同音異字の校名案が4点あるので、どの表記を校名案として採用するかを協議しなければならないということ。

票差にかかわらず、1位の「よつば」にこのまま決定すべきだということであれば、そのように進めたいと思うが、いずれにしても皆様に判断していただきたい。

委員長

1位の「よつば」にこのまま決定するのか、また、「よつば」に決定した場合には、どのような方法で表記を決定するかについて意見を伺いたい。

委員

最多得票した1位の校名案に決定するのは当然だと思う。

委員

第三次投票を実施する前に、投票総数の過半数の得票に達する校名案がなければ、上位2つの校名案で決選投票を実施するなどの取り決めをしておけば良かったのだが、投票が終わった今、そのような協議をすることは、これまでの経過を全てひっくり返す行為でもある。それは、やはりおかしいということであれば、1位の「よつば」に決定すべきだと思う。

委員

1位は「よつば」と結果が出たので、決選投票は実施せず、どの表記にするかを決定するための投票を実施すべきだと思う。

委員長

統合中学校の校名案を決定した際には、このようなことは起こらなかったのか。

事務局

統合中学校の校名案を決定した際には、校名案を段階的に絞り込み、4点の校名案を対象として1人1点の最終投票を実施し、投票総数の過半数の票を獲得して「青葉」に最終決定した。

委員長

この先の進め方について、教育長はどのように考えているか。

教育長

これから先ずっと呼ばれ続ける学校名なので、皆様が本当に納得した形で決定していただきたい。私は、皆様に諮問している立場なので、どのような方法で、どの校名案に決まろうとも構わないと考えている。ただし、決定するにあたり、納得がいくまで協議をされた方が良いと思うので、意見がある方はこの場で意見を出していただきたいと考えている。

委員

今、皆様が考えていることは、決選投票をすべきかどうかだと思うのだが、それを多数決で決定してはどうか。これは、大変悩みながら話をしている。なぜなら、決選投票を実施した結果、得票

数が逆転し、第三次投票で1位だった「よつば」が落選してしまった場合には、第三次投票は何だったのかということになってしまう。

しかし、このことで悩んでいるのならば、決選投票の実施について多数決を取った方が、協議の進みが良いのではないか。

委員

先程の事務局の説明であるが、「よつば」は同音異字の校名案が4つあるので、その分得票数が他の候補に比べて伸びたという可能性があるのだが、それでも「よつば」に決定して良いのかと言っているように受け取れる部分があったのだが。

教育長

そうではない。第三次投票では、第1位から第3位までの得票差がそれぞれ2票差でしかなかった。それは、皆様の考え方にそれほど大きな差がないということの意味している。それにもかかわらず、多数決だからという理由だけで、このまま決定してしまうことに問題はないのかを再確認する意味で発した言葉である。

校名案の協議については皆様に依頼しており、どの校名案になろうとも良いと考えている。

委員

決選投票をすべきかどうかについて早く決定し、協議を先に進めるべきだと思う。

委員

1位から3位までの得票差が2票差ずつでは、納得していない方がいると思うので、それならば思い切って1位の「よつば」と2位の「青葉」に候補を絞って決選投票を実施し、大差をつけて後腐れの無いよう決定すべきだと思う。

委員

2点に絞って決選投票する場合には、予め投票総数を奇数にしておく必要があるのではないか。

委員

本日の出席者は18人であり、投票総数は18票である。

委員長

このままでは、得票数が9対9の同数になる可能性がある。

委員

得票数が同数になった時はなった時で、皆様からその候補を推した理由を述べてもらい、その後に再度、決定方法を協議すれば良いのではないか。

委員

早く決選投票をやりましょう。

事務局

それでは、これまでの協議の内容を整理する。まず、事務局がこのまま1位の「よつば」に即決して良いのかと投げかけたことについては、1位から3位までの得票数が2票差ずつと僅差であったため、素朴な疑問として申し上げた言葉であり、他意があって申し上げたわけではないということとは、改めてご理解いただきたい。

そして、1位の「よつば」と2位の「青葉」による決選投票を実施してはどうかという意見が出ているが、皆様の了解が得られればその準備に入りたいと思うが、それでよろしいか。

—拍手—

あと2点確認させていただく。1点目は、先程のような話にならぬよう、得票数が1票でも上回った校名案に決定しても良いのかということ。2点目は、得票数が同数だった場合の対応はどうするのかということ。この2点を予め整理しておきたいと思う。

教育長

「よつば」と「青葉」で決選投票することになったが、この場で改めて意見交換をする必要があるのではないか。この後すぐに投票に入ると、ただ投票を繰り返すだけになるのではないか。それぞれの候補を推した理由について改めて意見交換し、そのうえで投票先を決定したいと考えている方もいるのではないか。

委員長

それでは無記名投票の意味はなくなるし、挙手で採決した方が早いのではないか。それに、皆がそれぞれの思いは既に持っていると思う。

教育長

意見を交わす中で、考えが変わる方がいるかもしれない。1人でも2人でも良いから、投票をする前に何か主張しておきたいという方がいるのであれば、その方の意見を聴くことは有意義なことであり、話し合いのメリットとはそうした部分にあるのだと思う。

また、この場にいる全員が意見を主張しない限り、無記名投票の意義は残ると思う。

委員長

それでは、意見があれば伺いたい。

委員

4校統合の意味合いが、将来的に残る校名案として「よつば」が良いと考えている。

委員

私は、「青葉」を推している。統合中学校の校名は、様々な理由や思いがあって「青葉」に決定したのだと思う。統合小学校と統合中学校の学区は同じエリアであり、統合小学校に在籍した子供達がそのまま青葉中学校に進学することになるのだから、統一感や小中一貫教育など、将来的な見通しまで含めて考えると、「青葉」が良いのではないかと考えている。

委員

私は、「わかば」を推していた。残念ながら第三次投票で落選してしまったため、「よつば」と「青葉」のどちらにするか、良く考えて投票したいと思う。

委員

私は、最初から「よつば」を推している。先程意見があったように、4校が統合するという意味合いから、「よつば」が良いと考えている。

委員

私は、小中一貫教育という意味合いから、「青葉」が良いと考えている。

委員

私は、地域の名称を学校名にしたいと考えていたが、推していた候補は落選してしまった。

「よつば」と言えば、一般的には幸せのクローバーのイメージかもしれない。しかし、この「よつば」には、4校のそれぞれの思いが込められており、素晴らしい校名案だと思うので、次の投票では「よつば」に1票を投じたいと考えている。

事務局

それでは、これまでの意見も参考にさせていただきながら、決選投票を実施したい。その前に、得票数が同数になった場合の対応をどうするのかについて決めておきたいが、良案があれば伺いたい。

教育長

得票数が同数になった場合には、その時にまた協議すれば良いのではないか。得票数が同数になるかどうかは、投票してみなければ分からない。

事務局

では、得票数に1票でも差がついた場合には、その場で決着とし、得票数が同数になった場合には、その時に対応を検討するという事で投票に入りたい。

《第四次投票》

■投票方法

以下の2点の校名案の中から1人1票ずつ投票（無記名投票）

- ・青葉（同音異字なし）
- ・よつば（同音異字4点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）

■投票結果

- ・青葉（同音異字なし）：9票
- ・よつば（同音異字4点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）：9票

委員長

結果を発表する。9対9の同数である。皆様の意見が、ちょうど半々に分かれているということだと思う。この後の対応について、皆様から意見を伺いたい。

委員

再度、皆で意見交換をした後に投票するか。

委員

この段階で意見交換するということは、自分が推している候補に何人の委員を引っ張り込むかという話し合いになると思う。もし、この次も投票で決定するのならば、その時には事務局にも1票を投じてもらい、投票総数を19票にしておけば、必ずどちらかに決定することができる。校名案の協議を依頼している立場で投票に参加したとしても、公平さは保てるのではないか。

委員

もし、事務局が1票を投じて、両者の得票差が1票になった場合には、事務局がどちらの候補に投票したのかが分かってしまうのではないか。

委員

事務局の3人に1人1票ずつ、合計3票を投じてもらえば良いのではないか。

委員長

確かに、事務局が1票を投じるとする案は、あまり良い方法ではない。

事務局

協議が想定以上に白熱しているため、考えを一度整理するという意味で、協議を次回に持ち越すという選択肢もあるが如何でしょうか。

委員長

本日は、出席者が18人、欠席者が2人である。次回も、出席者の人数が偶数になった場合には、得票数が半々に割れて決めきれないかもしれない。したがって、事務局にも投票に参加してもらうわけにはいかないのか。

事務局

事務局は、投票に参加すべきではないと考える。

委員

協議を次回に持ち越しても、決まるとは限らない。

委員

次回は、出席できない方がいるかもしれないので、本日中に決定すべきではないか。

委員

私は、「青葉」、「よつば」、「わかば」の3点の中から校名案が決定するだろうと思っていた。その中で、「よつば」について言えば、古い考え方かもしれないが、新しい学校名に「四」という数字がつくのは如何なものかという考えがあった。

個人的には「わかば」が良いと思っていたが、第三次投票で落選したため、第四次投票では「青葉」に投票した。4校が統合するという理由から、「よつば」が良いという考え方も理解できるのだが、「四」という数字がつくことについては、如何なものかと考えていた。

委員

校名案は、本日中に決定すべきだと思う。協議を次回に持ち越すということは、再度この件に時間を割かなければならないということである。校名は、非常に重要な問題だと思うが、それ以外にも私服・制服の問題、体操服の問題、さらにはスクールバスの問題等についても協議しなければならないということを考えると、本日中に決定すべきだと考えている。

この後の決め方については、投票総数が奇数になるよう事務局の3人に参加してもらい、最終投票を実施するという方法で良いのではないか。

委員長

私も、本日中に決定したいと思う。

教育長

校名は、学校づくりをするうえで全ての根幹となる最も重要なものである。地域の方、教職員、

子供達等，学校に関わる全ての方にとって非常に重要な問題だからこそ，ここでの協議が白熱しているものであり，それについては非常にありがたいことだと感じている。

本日中に校名案を決定できればそれが一番良いとは思いますが，統合小学校の開校は再来年であるため，じっくりと協議するための時間はまだ十分に残されているということをご理解願いたい。

どのようなイメージで学校をつくるのか，名前に込められた学校のイメージ，子供達の姿などを大事にして，そのような思いをもって投票していただけるとありがたい。

委員長

委員の皆様は，これまでの投票において，1票1票渾身の思いを込めて投票していると思う。

教育長

統合中学校の校名の選考理由を読んでももらえないか。今，「青葉」を推している方は，ただ単に統合中学校の校名が「青葉」だから，小中一貫教育を念頭において，統合小学校も「青葉」で良いだろうと考えているわけではないと思う。「青葉」に対して，様々なイメージを膨らませたうえで「青葉」を推しているのだと思う。「よつば」についても同様であり，4校が統合するという理由だけで「よつば」が良いだろうと考えているわけではないと思う。どのような子供達を育てるのかなどのイメージについても十分に協議されるべきだと思う。

委員

私は「青葉」を推している。統合中学校の校名の選考理由である「梅も桜も花を咲かせた後は，みずみずしい青葉が茂る」のイメージが，統合小学校の子供達が中学校に進学していく姿と重なるものを感じたため，「青葉」が良いと考えていた。

「よつば」の4校が統合して1つになるという比喻も，「青葉」の「梅も桜も花を咲かせた後は，みずみずしい青葉が茂る」という比喻も，統合して1つになるという意味合いとしては同じだと思う。

委員

私は「よつば」が良いと思っている。統合して1つになるという意味合いは，「よつば」も「青葉」も同じではないかという先程の意見だが，私としては，4校の統合ということに大きな理由があると考えているので，統合小学校の校名案としては「よつば」が素晴らしいのではないかと考えている。

また，先程「四」という数字のイメージについて話があり，私もどちらかと言えば古い考え方をする人間だが，そうした数字のイメージは関係ないと思う。

委員

先程，校名案を決定するにあたり，子供達の未来像や学校づくり等もイメージしながら協議してほしいという話があったが，我々にそこまで求められると荷が重いと感じている方はたくさんいるのではないかと思います。

教育長

双方の校名案に対する意見がもう少し出てくれば，校名案を決定しやすいだろうということ，そして，皆様からそのような意見をもっと出していただけることを期待して先程の話しをした。

委員

私は、どちらかと言えば「よつば」を推しているのだが、今日この場に来るまでは「よつば」が良いとは思っていなかった。

統合中学校の「青葉」という校名には、「梅も桜も花を咲かせた後は、みずみずしい青葉が茂る」という選考理由に記された想いが込められているのでしょう。しかし、教育長が述べたような教育方針等の意味合いまで含まれているのかというと、私には、そこまでの内容を読み取ることはできなかった。桜丘中学校と梅香中学校が統合するという純粋な思いに基づいて、「青葉」という校名が決定したのだなと感じた。

「四」という数字は、ひっかかるという意見があった。「四」という数字は、確かに誤解される部分があるかもしれないが、4つの学校が一緒になること、「よつば」のクローバーが幸せの象徴であること等を考えると、「よつば」が良いかなと考えている。

委員長

私にも考えは色々あるし、校名を応募された方々にも様々な思いがあったと思う。皆様から意見を出してもらうことも重要なことだが、そろそろ決選投票を実施しないか。

教育長

なぜ、多くの意見を出していただきたいと話しているかということ、皆様の様々な思いをこの場でより多く聴かせていただくことにより、校名案の選考理由等がより明確なものになるからである。統合中学校の校名「青葉」の選考理由を読んでもらえないか。

事務局

青葉中学校の選考理由を朗読する。

「梅も桜も花を咲かせた後は、みずみずしい青葉が茂る。」

本町の水と緑豊かな自然環境に恵まれた学び舎で、生徒たちが青葉のような若々しい力強さを持って、心豊かにたくましく育ってほしいとの思いと、統合によって長い歴史の幕を閉じることになる桜丘中学校と梅香中学校が築き上げてきたすばらしい文化と伝統を新中学校に引き継ぎ、毎年若い青葉が芽吹くように、新たな歴史を刻んでいってほしいとの期待が込められている。

そのような思いが込められた『青葉中学校』が、新生統合中学校にふさわしい校名であるということを選考した。」

教育長

このような意見が、統合中学校の校名案の協議において出ていたのである。

委員

その選考理由は、文章表現で長くなっただけであり、これまでの協議においても内容的には同様な意見が出ていると思う。

委員

その選考理由は、校名案が決定した後に考えられたものですね。

教育長

後から考えたものではあるが、校名案の協議の中で、委員の皆様からいただいた意見を基にして考えたものである。

私は、皆様に諮問している立場であるため、皆様の協議によって決定する校名案とその選考理由を大事にさせていただき、多くの方にそれを周知していきたいと考えている。

委員長

校名案に関する意見や思いは、かなり出たと思う。

事務局に再度確認するが、やはり事務局は投票に参加することはできないのか。

事務局

参加すべきではないと考える。申し訳ないことだが、仮に、再度投票を実施して得票数が同数になった場合には、大変心苦しいだろうが、委員長に裁定していただくというのも一つの方法だと考える。

委員

委員長に2票分の投票権をもっていただき、それで投票しましょう。どちらか一方に2票投じて、双方に1票ずつ投じて、双方の得票数に必ず差はつく。この方法であれば、委員長が裁定を下したことにはならず、責任を感じる必要もないでしょう。

事務局

しかし、双方に1票ずつ投じるというのはおかしくないか。2票投じるのならば、どちらか一方に投じるべきではないか。双方に1票ずつ投じるということは、どちらの校名案でも良いと言っているのと同じではないか。

委員

それは、委員長の考えで決めれば良いことだと思う。委員長がどちらの校名案でも良いと考えているのならば、双方に1票ずつ投じれば良いし、そのような考えではないのならば、どちらか一方に2票投じれば良いと思う。この方法であれば、誰も委員長の責任だと思わない。

委員

幸いなことに、委員長は、どちらの校名案が良いと考えているかを話していない。

委員長

確かに、自分の考えはまだ話していないから、私がどれに投票しようとしているかは分からない状況である。では、私が2票分の投票権をもって、再度投票を実施しましょう。

《第五次投票》

■投票方法

以下の2点の校名案の中から委員長は2票投票し、その他の委員は1票ずつ投票する
(無記名投票、投票総数19票)

- ・青葉 (同音異字なし)
- ・よつば (同音異字4点: 四葉, 四つ葉, 四ツ葉, よつば)

■投票結果

- ・1位: 青葉 (同音異字なし): 10票

・ 2位：よつば（同音異字 4 点：四葉，四つ葉，四ツ葉，よつば）：9 票

校名案は「青葉」に決定

事務局

「青葉」が 10 票，「よつば」が 9 票で，校名案は「青葉」に決定した。

委員長

どちらも素晴らしい校名案であったが，「青葉」に最終決定できたことに感謝申し上げる。

(3) 統合校の服装について

委員長

議事 (3) 統合校の服装について，事務局からの説明を求めます。

事務局

現在，川根小学校と駒場小学校では，同じモデルの制服を着用している。上着は，男女兼用のモデルで，販売価格はサイズによって若干異なるが，身長 130cm サイズの男子の制服は 15,700 円，女子の制服は 16,800 円である。

先般実施したアンケートで，私服が良いと回答した方からいただいた懸念事項等を整理してみた。

機能面では，制服は動きにくいのではないかという意見があった。これについて，制服の販売店に行って実物を確認したところ，軽くて柔らかい素材が使用されているため，動きにくさを心配するほどのものではなかった。また，暑さ寒さに対応しにくいのではないかという意見もあったが，実際には，夏場は上着を着用しないし，冬場は制服の上からコートを着用し，男子であれば長ズボンを着用して対応している。

維持管理面では，毎日洗濯ができないため，替えの制服が必要になるのではないかという意見があった。しかし，現行の制服は，洗濯機で丸洗いができるうえ速乾性にも優れており，さらに形状安定加工も施されているため，シワになりにくいものになっている。

一番の問題はコスト面であるが，これについては，6 年間のうちに何度も買い替えが必要となり，私服と比べてコストがかかるのではないかという意見があった。このことについて，制服の販売店に確認したところ，買い替えの回数は個人差があるものの，6 年間のうちに 1 回～2 回がほとんどであるとの回答であった。また，上着には，袖が 2cm 程度伸びる機能が備わっているし，先程も説明したが，上着は男女兼用であるため，兄弟姉妹間でのおさがりも可能である。

制服の価格は，男女ともに 16,000 円前後で 6 年間のうちに何回買い替えるのか，また，6 年間のうちに学校に来ていく私服の購入費用はどの程度かかるのかなど，個人差や諸条件によって制服と私服のどちらが経済的かということは一概に言えないが，検討材料を整理するとそのような状況である。

その他，制服は画一的であるがゆえに個性が失われるのではないかという意見があった。これについては，制服が良いと回答した方から，洋服で個性を主張し過ぎると，かえっていじめの対象になり得るのではないかという意見があった。また，制服は堅苦しいイメージだという意見がある反面，制服が良いと回答した方からは，統一感や清潔感があって好印象に見えるという意見があった。

こうしたことから、私服が良いと回答した方が心配しているほど、制服は悪いものではないと言えるのではないかと思う。そして、先般実施したアンケートの結果において、制服が良いと回答した方が圧倒的に多かったこともふまえながら、制服と私服のどちらを着用するかについて協議願いたい。

委員長

議事（３）統合校の服装について、事務局からの説明が終わりました。

本日中に、制服にするか私服にするかを決定するのか。

事務局

本日中に決定できれば良いとは思いますが、皆様の協議により、全てが整理できた時点で結論が出れば良いと考えている。

委員

先般実施したアンケートの結果では、制服が良いと回答した方が圧倒的に多かった。また、前回の協議でも、制服が良いという意見が出ていたと思う。そうすると、今協議すべきことは、私服が良いという意見があるのならば、その意見を伺うという形がよろしいのではないか。

委員

本来は、制服と私服の双方のメリットやデメリットについて協議し、そのうえで結論を出していくのが理想だと思うが、先々のスケジュールを考えると、まずは制服の着用を決定し、制服着用とした場合に浮上する課題を洗い出し、その課題をクリアするための協議をした方が建設的だと思う。

アンケートの結果でも、前回の委員会における意見でも、制服が良いという意見が圧倒的に多かったことを考えると、制服に反対の意見があれば、その意見を基にした協議を行い、そのうえで本日中に結論を出すべきではないかと考える。

委員

今の制服は、兄弟姉妹間でおさがりを回したり、バザーに出品されたりするなど、リサイクルが可能なモデルになっている。また、制服を着用することで、個性が失われるのではないかと心配する意見があったが、制服を着ている子供達は、学校で皆伸び伸びと生活しており、そのような心配はないと感じている。

アンケートの結果では、多くの方が制服を支持しているにもかかわらず、それに反する結論をここで出すことになると、何のためにアンケートを実施したのかが分からなくなる。私は、アンケートの結果を尊重したいと考えている。

委員

事務局から説明があったように、制服は軽くて清潔であり、その他にも様々なメリットがある。毎日、着ていく服をあれこれ悩んでいたら、それだけで参ってしまう。学校は勉強する場所であり、ファッションショーをする場所ではない。子供達に好きな服を着させたいのであれば、休日にその服を着させて遊びに連れて行けば良いと思う。また、動きにくいという意見があったが、制服を着たままで運動はしない。諸々を考えると、制服が良いのではないかと思う。

委員

制服の素材は良くなっているので、制服の方が良いと思う。女子の洋服を見ると、大人っぽいデザインが多く、丈が短いスカートや肩がはだけて見える服を見かけることがある。それらを考えると、制服の方が良いと思う。

委員長

アンケートの結果は、どのようであったか。

事務局

制服が良いと回答した方が312人、私服が良いと回答した方が98人であった。

委員長

それでは、制服を着用するという事で決定してよろしいか。

—異議なし—

事務局

次回からは、統合してから1年間しか制服を着用しない6年生にも制服を購入してもらうのかなど、様々な課題を洗出しながら協議を進めたいと考えている。

委員

ただいまの決定は、現在、川根小学校と駒場小学校で着用している標準服にするという決定か。

事務局

ただいまの決定は、あくまでも制服を着用するか私服を着用するかの決定であり、どのモデルを選定するかは次回以降に協議したい。

(4) その他（次回開催等について）

事務局

長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。本日は、校名案と制服・私服の問題について決定することができた。

次回は、報告会形式の委員会を開催し、委員長から教育長に校名案の決定に関する報告を行う予定である。その後、11月の定例教育委員会において、校名案及びその決定経過を報告し、教育委員会の承認を得て、12月の定例議会に茨城町立学校設置条例の一部改正案を上程する予定である。

次回の開催日程は、10月31日（木）にしたいと考えている。

委員長

次回の開催日程は、10月31日（木）でよろしいか。

—拍手—

事務局

開催案内は、後日文書で通知する。